

## 株式会社フォトロン

### お互いの顔が見えて、日本-ベトナムスタッフ間の心理的距離を一掃。Web会議により連帯感が生まれ、仕事の質も向上

民生用および産業用電子応用システムのリーディングカンパニー、株式会社フォトロン。高速度ビデオカメラの開発・販売を行うイメージング事業をはじめ、多様な事業をグローバルに展開している。世界中で活躍する製品を高い技術力で生み出している同社だが、その開発・検証センターであるベトナム拠点とのコミュニケーションに改善の必要性を感じていた。背景にあったのは、言葉や立場の違いが生む心理的距離。それを縮めたのはIC<sup>3</sup>だった。iPadの画面で常にお互いの状態が見える効果は大きく、日越スタッフに一体感が生まれ、業務品質とモチベーションの向上につながった。

#### お客様が実現できたこと

- ✓ 24時間“お互いが見える化”の実現で、日越スタッフ間の心理的距離が縮まった
- ✓ iPad活用で、いろいろな場所で気軽に・柔軟に会話できるようになった
- ✓ 品質の良くない通信環境でも途切れず、満足できる音声通信が出来た

#### ▶ お客様プロフィール

### Photron

社名：株式会社フォトロン  
URL：<http://www.photron.co.jp/>

住所：東京都千代田区神田神保町一丁目105番地 神保町三井ビルディング 21階

創業：1968年7月10日  
従業員数：267名  
事業内容：民生用および産業用電子応用システム（CAD関連ソフトウェア、高速度ビデオカメラ・画像処理システム、放送用映像機器、その他）の開発、製造、販売、輸出入

設立以来、画像分野のフロントランナーとして時代の先端を走り続けるフォトロン。その保有技術、業務機能に立脚した事業分野を資産として、お客様のあらゆるニーズを吸収しています。そして、それらのニーズと独自の資産に新しい知見を加える独特な統合力で、ユニークな特徴ある先進のシステム提案を提供しています。





株式会社フォトロン  
研究開発センター  
上席研究員  
博士(工学)  
楳田 敏之様

### 「迅速対応で安心でした」

「キヤノンITソリューションズには要望をすぐバージョンアップに入れてくれるなど、迅速な対応で安心感があります。導入時もすぐに当社でデモを実施していただき、スムーズに使用することができました」

### — 担当営業紹介 —



通信コミュニケーション  
ソリューション事業部  
草 真琴

「IC<sup>3</sup>の強みである通信の安定性と海外でも途切れにくい音声品質を評価いただきました。これからおお客様の声にお応えした製品づくりを進めてまいります」



## お客様のご要望

- ▶ ベトナムのスタッフが、遠慮せずに日本メンバーに相談、報告できる雰囲気と環境を作りたい
- ▶ 持ち運びできる身近な端末で、気軽に使えるようにしたい
- ▶ 不安定な通信環境でも音声途切れず話せる Web 会議を導入したい



## 導入前の課題と背景

### 開発拠点となるベトナム事業所の設立

課題となったのはベトナムの開発拠点とのコミュニケーションですね

「当社は多様な事業を展開していますが、中でもイメージング事業分野は、国際的にも高く評価されています。早くから欧州、北米、中国に拠点を設け、販売・サポートを充実させてきましたが、開発もグローバル化すべく、コスト競争力のあるベトナムに開発センターを立ち上げたのは 2001 年のことでした。PHOTRON VIETNAM TECHNICAL CENTER LTD. は、日本の開発部門と連携して、バージョンアップやバグの検証などを担ってきましたが、日越間のコミュニケーションの難しさが、高品質な技術開発の実現を阻む課題となっていたのです」



## 導入の必然性

### コミュニケーションの量と質に課題

具体的にはどのような課題を解決しようとしたのですか

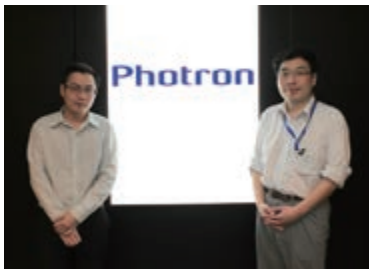
「ベトナム拠点が軌道に乗り、常駐していた日本人スタッフが帰国すると、報連・相が減速し始めました。当社製品は最先端技術の塊なので、細かい仕様確認や技術的な理解が重要です。しかしベトナムのスタッフに聞いてみると、外国人かつ管理者である本社スタッフに遠慮して、すぐに報告や質問ができずにいるようでした。さらに、日本語メールを書くのにも苦勞していました。遠隔会議システムはいくつか導入済みでしたが、複数人の会話が聞き取りづらかったり、従量課金のサービスであったりと、『遠慮せずいつでも相談』という用途には不向きでした。

そんな時、ある展示会で IC<sup>3</sup> を見つけ、同時接続ライセンスで時間を気にせずつながりっぱなしにできること、iPad でも安定して使えることから『これを使えば解決できそう!』と思い、すぐに導入の具体的な検討を進めました」

## 工夫 運用の工夫 iPadで手軽に、24時間接続

### どのように活用しているのですか

「IC<sup>3</sup> クラウドサービスで、日本とベトナムのオフィスを24時間つないでいます。使用デバイスはiPadで、日本側は私の机の横で基本的にマイクはオフに設定。話したいときにオンにして呼びかけるようにしています。ベトナム側は部屋全体の様子分かるように設置しました。



(右)  
株式会社フォトロン  
研究開発センター  
上席研究員 博士(工学)  
榎田 敏之様  
(左)  
PHOTRON VIETNAM TECHNICAL  
CENTER LTD.  
NGO MITH TUAN 様  
(ゴ ミン トゥン)

話す内容は、毎日の報・連・相や質疑応答、個別の面談など様々です。相手側の特定メンバーに話しかけたい場合は、iPadの近くにいる人に頼んで渡してもらいます。日越の当事者同士がすぐに会話できるので、据え置き型のTV会議システムより、はるかに効率的です。出張にiPadを持って行けば、外からでも会議に参加できるので非常に便利です。

ベトナムの開発センターは日本からの指示・依頼に100%対応することを目指して技術力の向上を進めています。先端の技術の最新情報や研究資料はベトナム語版の入手が難しく、IC<sup>3</sup>による日本側との密な会話が欠かせません。iPadは操作も簡単です。ベトナムでは海底ケーブルのトラブルでインターネットの速度が下がることたびたびありますが、IC<sup>3</sup>なら安定した音質で会話できるので、ありがたいですね」

### 24時間接続のメリットはなんですか

「お互いの姿がいつも見えることです。24時間繋いでいれば、画面越しでも、ちょっとした変化に気づくことが出来ます。例えば、何か悩んでいるスタッフがいたらiPadを持って会議室に入ってもらい、個別に話すこともあります。逆に、ベトナムからも話したい日本人開発者が在席しているか、話しかけても大丈夫か、一目瞭然です。

お互いの“見える化”が進み、気軽に声を掛け合える雰囲気生まれました。当初、監視されるのではと危惧したスタッフも、遠慮せずいつでも相談できるメリットを感じてくれているようです」

## 成果 取り組みの成果 能力の向上により仕事の質も変化

### コミュニケーションの質と量は改善されましたか

「はい。おかげで、4つの導入効果がありました。

- ①日越スタッフ間の垣根が下がり連帯感が生まれた
- ②業務効率の向上、
- ③ベトナム人の日本語能力向上、そして、
- ④出張費用の削減です。

IC<sup>3</sup>では、お互いの顔が見える安心感があり、日本人もベトナム人も同じチームとしての一体感があります。多少、言葉は拙くとも、気軽に会話できるので、報告や相談などは大きく効率化されました。以前のように苦勞して日本語メールを書かなくても、口頭ですぐ伝えられます。言葉での説明が難しい場合も、画面上で回路図を見せれば理解してもらえるので、いちいち画像の添付メールを送る必要もありません。

心理的な距離感があった頃は、日本に問い合わせなければすぐ解決するような事を、ベトナムで1週間以上悩んでから相談をするようなことがありました。今はIC<sup>3</sup>越しに、すぐ報告や相談をしてくれます。

日本語での会話の量が増えるにつれ、ベトナム人スタッフの日本語能力も高まりました。IC<sup>3</sup>には語学教育ツールとしての利点もあるようです。

実際に出張しなくとも、密度の高いコミュニケーションが可能になったことで、日本からベトナムへの出張回数も減らすことができました。逆に今度は、技術向上を目的にベトナムから日本に長期出向してもらおう試みをしています。日本にいても、ベトナムの同僚とiPadを介してつながることで、外国で仕事するストレスも軽減されるようです」

### コスト面はどうでしたか

「初期費用は最小限で済みました。据え置き型のTV会議システムのように大がかりな設備は不要ですから、すぐに導入できます。

従量課金制ではないので、金額を気にせず使えるのは嬉しいですね。定額制だと予算化しやすいのも助かります。クラウド型なら、サーバー保守も不要なので、運用負荷も極めて低いです。

小規模なシステムから、気軽に導入できることはIC<sup>3</sup>の大きな魅力です」

## 将来 将来の展望 働き方改革に応用したい

今後の展望についてお聞かせください。

「当社は、ワークスタイル改革の全社的な取り組みを始めています。テレワークのツールとして、抵抗感なく使ってもらえる工夫をして、在宅ワークの社員をサポートするよ

うにしたいです。

IC<sup>3</sup>はキヤノンITソリューションズの自社開発なので、我々ユーザーの声が届きやすいと思います。多言語対応など、我々の声が今後のバージョンアップに反映されることも期待しています」

## ベトナムと日本での使用イメージ

ベトナムオフィスと日本オフィスを24時間接続しています。基本的にマイクはオフにしておき、話したいときにオンにして呼びかけます。



### IC<sup>3</sup> for iPad

IC<sup>3</sup> for iPadは、IC<sup>3</sup>専用のクライアントアプリケーションです。無線環境の帯域のゆらぎに強く、とぎれが少ないのが特長です。タップやフリックというシンプルな動作で、会議中に必要な操作を一画面上で行うことができます。

開発元：キヤノンITソリューションズ株式会社



IC<sup>3</sup> ホームページ

[www.canon-its.co.jp/products/ic3/](http://www.canon-its.co.jp/products/ic3/)

キヤノンITソリューションズ株式会社  
東京 〒140-8526 東京都品川区東品川2-4-11

TEL(03)6701-3577

● iPadは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。

**Canon** キヤノンITソリューションズ株式会社